

啓発地域まちづくりワークショップ報告

日 時：令和 8 年 5 月 29 日（金）19:00～20:30 場 所：啓発センター
出席者：20 名（地域 12 名、区役所 2 名、コンサルタント 6 名）

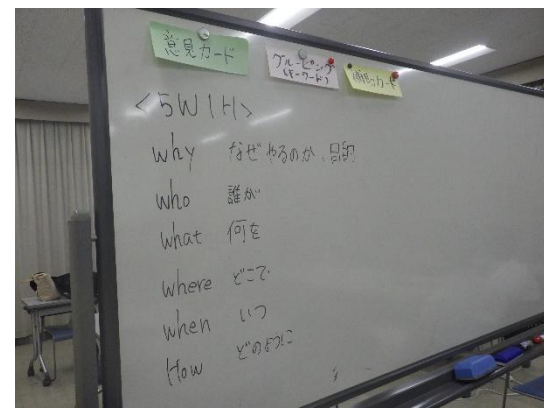
【テーマ】

- 1 これまでの未来会議の意見をイベントの形にした 5 つの案について提案説明
- 2 これからの進め方を考える

《配付資料》

・「未来会議 総括」資料

《開催時の写真》



《意見の概要》

●5つの案の中からどれを選ぶ？

【全体】

- ・5つの案とも、すばらしい。

【すでにある行事をリニューアル】

- ・地域内でのスタンプラリーが身近な感じと思う。
- ・スタンプラリーの動線をどう引くかは、面白い。
- ・すでに啓発地域を巡る台本がある（地域活動協議会のコミュニティ部会の年間計画に企画有）ので、原案を活用してもよい。
- ・遊び開放デー：毎月1回「子どもの遊び場」を実施
- ・盆踊り：8月の高齢者イベント、11月の啓発フェスティバルでも盆踊りは実施

【若い人が集まる企画】

- ・若い人が集まる企画がよい。面白みがある。若い人に選んでほしい。
- ・若い人に集まってもらい、地域の活動につなげていくのがよい。
- ・どの企画なら若い人が集まるか？を考えるのがよい。
- ・若い人が集まって、楽しいことをやって、巻き込んでいく。若い人の仲間が集まってくる。

【一泊避難訓練イベント】

- ・体育館で一泊がしたい。映画も鑑賞したい。
- ・3月の第1日曜日には防災訓練を行っており、「一泊避難訓練」を取り込んでもよい。
- ・花火も入れたい。
- ・グラウンドでキャンプファイヤー。デイキャンプでもよい。
- ・学校を使う場合には、学校と話をする必要がある。
- ・花火は、騒音の問題がある。手持ち花火なら公園で可能かな。
- ・段ボールは高い。⇒1年かけてスーパーなどで段ボールを集めることを考えている。
- ・コミュニティの防災備品を活用できる。市からの支援も受けられるのではないかな。
- ・災害時にトイレの問題（下水に流せない場合）は大きいので、非常用トイレを体験できるとよい。

【その他】

- ・B級グルメはどうか？

●今後の進め方

- ・今後、「（一泊）ナイトイベント」をもとに企画を検討していく。
- ・若い人（高校生を中心）に企画を考えてもらいたい。